

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-68	小学校	体育科	保健	3・4
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	保健 301	新しいほけん 3・4		

1. 編修の基本方針

豊かな学びが未来を拓く

子供たちが、生涯を通じて健康・安全で幸福に生きることが、私たちの願いです。そのためには、保健の見方・考え方を生かして、健康・安全について「何を知っているか」だけではなく、「知っていることを使ってどのように社会と関わり、よりよい人生を送るか」という視点から、知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学びに向かう力や人間性などを、総合的に育てていくことが求められています。

本教科書は、教育基本法の理念を踏まえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、未来を拓くために必要な資質・能力の育成を目指して編集しました。

＼特色／

1

主体的・対話的で
深い学びを
実現させる教科書

保健の授業が主体的・対話的で深い学びとなるように、紙面構成を工夫しました。

＼特色／

2

思考力・判断力・
表現力を育む教科書

A4判を採用し、思考力・判断力・表現力を育む学習活動を豊富に設定しました。また、思考・判断したことを表現する記入欄を多く設けました。

＼特色／

3

学びの意欲が高まる
教科書

各項に設けた「資料」や、他教科との関連、デジタルコンテンツなど、児童の学習意欲を高める工夫を随所に設けました。



主体的・対話的で深い学びを実現させる教科書

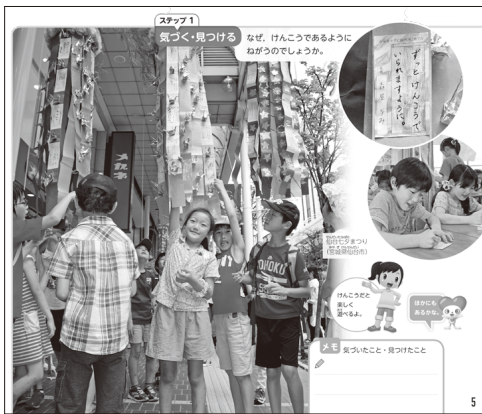
問題解決的な授業を見える化し、保健の授業が主体的・対話的で深い学びとなるように、各項を「ステップ1」～「ステップ4」の学習活動から構成しました。

ステップ1

気づく・見つける

自分の健康課題を見つける活動

授業の導入として、自分の健康課題に気づいたり、見つけたりすることができるような、簡単な問いかけや活動を設けました。



5 (▲p.5)

ステップ2

しらべ かいけつ 調べる・解決する

課題の解決に向けて、情報を収集し、調べたり、話し合ったりする活動

「学習の課題」を受けて、その課題を解決するために調べたり、話し合ったりする学習活動を設けました。

ステップ2-1
しらべ かいけつ
調べる・解決する 手や体をあらう理由を考えましょう。

- 1 水でぬらしただしめんで、手をよくふき、よこれを調べましょう。
- 2 1)と下の実験のけっから、分かったことを書きましょう。

(▲p.16)

ステップ3

ふか った 深める・伝える

習得した知識をもとに考え、筋道を立てて表現する活動

ここまで学習したことをもとに、さらに考えたり、意見やその理由を相互に表現し合ったりする活動を設けました。主体的・対話的で深い学びの中心となる活動です。

ステップ3
ふか った
深める・伝える

まずは、夜ふかしをやめて、決めた時間に早く寝ることにしたよ。

ほかの人の発表を聞いて、考えたことや分かったことを書きましょう。

たぐみさん

ステップ2)のたぐみさんは、自分の生活を見直して、次のように言っています。このことで、たぐみさんの生活はどのようかわるか考え、話し合ひましょう。

(▲p.13)

ステップ4

まとめる・生かす

学習したことをまとめ、自分の生活やこれからの学習に生かすための活動

授業の最後に、学習したことをまとめるとともに、自分の生活を見直したり、もっと調べたいことを考えたりして、生活に生かすための活動を設けました。

ステップ4
まとめる・生かす

- 1 ()の中に言葉を入れて、今日の学習をまとめましょう。
けんこうにすごすには、(), (), 休養・()に気をつけて、きそく正しい1日の生活リズムを作ることがひつようです。
- 2 これまでの生活をふり返り、自分の生活で直したほうがよいところを考えてみましょう。

次の時間は、「体のせいけつとけんこう」について学習します。体のせいけつのために気をつけていることを考えておきましょう。

(▲p.14)

2

思考力・判断力・表現力を育む教科書

1 思考力・判断力・表現力を育む 具体的な活動を設定しました。

A4判のメリットを生かして、学習指導要領解説で具体的に例示された「健康課題を見つける」「解決方法を考え、伝え合う」などの学習活動を豊富に掲載しています。

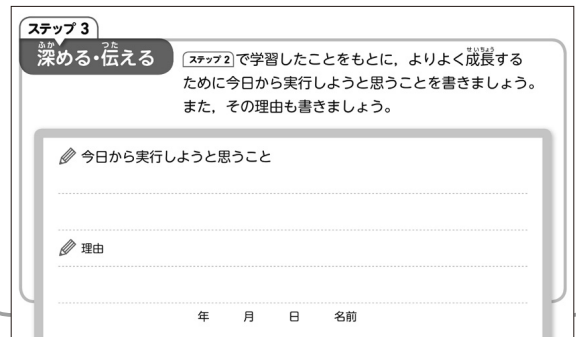


(▼p.25)

2 A4判を採用し、記入スペースを多く確保しました。

ステップ1～ステップ4のそれぞれで、思考・判断したことを表現することができるようにしました。教科書をワークシートのように活用し、後で学びをふり返ることもできます。教科書の用紙は、書き込みがしやすく、かつ、軽量で丈夫な用紙を開発し、採用しています。

(▼p.39)



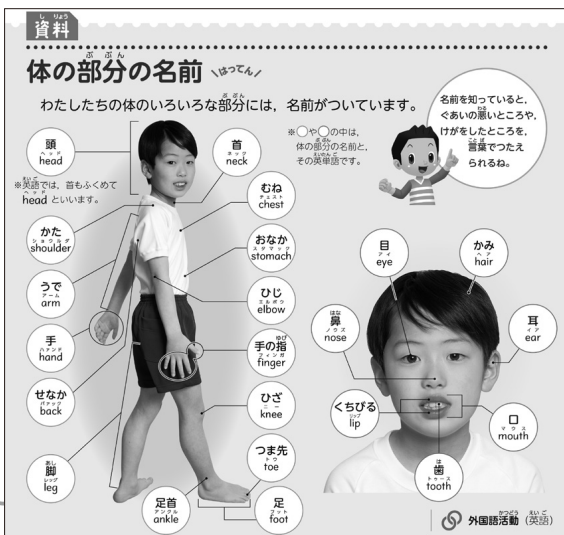
3

学びの意欲が高まる、資料性の高い教科書

1 今日的な健康課題に対応した「資料」のページを充実させました。

各項末に、学習内容に関連した情報を、「資料」として掲載しました。児童が知りたい情報を豊富に掲載しています。

(▼p.10)



2 児童の学びを手助けする「Dマーク」コンテンツや、他教科とのリンクを充実させました。

児童の理解度を高めるために、デジタルコンテンツを豊富に用意しました。他教科との関連箇所も随所に示しました。

(▼p.16)



つながりよう

理科4年 ●人の体のつくり
 理科5年 ●人のたん生
 理科6年 ●人の体のつくりと働き
 家庭5・6年 ●栄養を考えた食事と道徳

- 個性のしん長 ●感しや
- 相ご理解、かんよう ●家族愛
- よりよい学校生活、集団生活のじゅう実
- 生命のとうとさ

「Dマーク」デジタルコンテンツのある箇所に付けました。ここでは、実験の方法や結果などを映像で見ることがができます。

(▼p.24)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほけんの学習を始めよう」「どんな自分になりたいかな」では、健康の大切さや、健康についての考えについて触れ、健やかな身体を養うことの大切さについて理解できるようにしました。(第1号) ・「この教科書の使い方」では、主体的に思考・判断・表現したり、仲間と話し合ったりしながら課題を解決していく学習について説明し、自主及び自律の精神を養うとともに、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号, 第3号) ・「けんこうを守る活動」では、学校では多くの人が健康を守る仕事をしていることを取り上げ、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次～1ページ ・2ページ ・3ページ
各章	<ul style="list-style-type: none"> ・「章とびら」では、その章の目的や学習内容が端的にわかるようにするとともに、「つなげよう」で道徳など他の教科との関連を示し、幅広い知識と教養を身に付け、道徳心を培うことができるようにしました。(第1号) ・本文や「資料」では、健康についての知識を端的に記載し、幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養うことができるようにしました。(第1号) ・学習活動として、主体的に思考・判断・表現したり、仲間と話し合ったりしながら課題を解決していく学習を随所に設け、自主及び自律の精神を養うとともに、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号, 第3号) ・他教科との関連を随所に示し、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしました。(第1号) ・4年「体の成長とわたし」では、くり返し「個人差」について記述し、個人の価値を尊重する態度を養うことができるようにしました。また、自分の成長を実感したり、体の成長について理解したりすることで生命を尊ぶ態度を養うことができるようにしました。(第2号, 第4号) ・写真やイラストで、日本の伝統的な行事や、身近な地域の生活場面を掲載し、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養うことができるようにしました。(第5号) ・イラストで外国人の児童を掲載したり、資料「体の部分の名前」で、体の部分の英単語を掲載したりして、他国を尊重する態度を養うことができるようにしました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・4, 24ページ ・5～22ページ 25～40ページ ・5～22ページ 25～40ページ ・3, 17, 21, 26, 35, 38ページなど ・24～41ページ ・4～5, 6～7, 11, 17, 37ページなど ・7, 10ページ
巻末	<ul style="list-style-type: none"> ・資料「毎日の生活に運動を取り入れよう」では、友人や家族、高齢者や、障がい者などと関わる場面を示しながら、身近な生活から体力向上を図ることを示し、健やかな身体を養う態度、生活との関連を重視する態度、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第1号, 第2号, 第3号) ・資料「外で遊ぶときに注意すること」では、命を守るために必要な防犯に関する内容を扱い、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにしました。(第4号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・42～43ページ ・44ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

すべての児童が使いやすく分かりやすい紙面の配慮と工夫

①特別支援教育への配慮

- ・文節改行(文節の切れ目で改行)を基本とし、文章を読み取りやすくすることで、文章の読解の段階でつまづきがないように配慮しました。
- ・「学習の進め方」を各項の冒頭で毎回示し、授業の見通しをもって学習ができるようにしました。
- ・本文ページの各「ステップ」を枠で囲み、本文と活動のまとまりを区別しました。

②人権上の配慮

- 固定的なイメージで性の区別をしないように、イラストや写真での男子・女子の表現などには細心の注意を払いました。
- 活動場面では、男子・女子の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮しました。
- 成長には**個人差があることを強調し、多様性や個人の価値の尊重**に配慮しました。

③ユニバーサルデザインへの取り組み

- 書体は、**独自に新開発したUD教科書体**を採用しました。このUD教科書体は、**従来の教科書体に比べてさらに太く、視認性をいっそう向上**させています。
- 色覚の多様性に配慮し、**カラーユニバーサルデザイン**の観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。



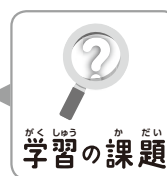
④造本上の工夫

- **書き込みがしやすく、かつ、軽量で丈夫な用紙を開発し**、採用しました。教科書をワークシート的に活用できるようにするとともに、重量による身体的負担の軽減に配慮しました。

2 今日的課題への取り組み

⑤ご指導経験の浅い先生方への配慮

- 各項をステップ1～ステップ4で構成し、**授業の流れをわかりやすく示**しました。
- 主発問と児童の思考を促す補助発問とを効果的に配置し、**スモールステップ**で指導できるようにしました。
- 「**学習の課題**」と授業のまとめ(「**ステップ4 まとめる・生かす**」)を各項に設定することで、各項目で習得する知識が明確になるようにしました。



⑥評価への取り組み

- 児童が**思考・判断したことを表現する記入欄**や、**学習をまとめる記入欄**、各章末の「学習をふり返ろう」の**自己評価欄**や**記入欄**など、先生方が評価をする際に手がかりとなる箇所を多く盛り込みました。



⑦道徳教育との関連

- 章とびらの「**つなげよう**」で道徳科の各内容項目との関連を示し、道徳科との関連が図りやすいように配慮しました。



⑧カリキュラム・マネジメントへの取り組み

- 養護教諭や栄養教諭、学校医などが紙面で登場する場面を随所に設け、**学校内外の人材の有効活用**に配慮しました。
- 章とびらや、本文ページで**他教科との関連**を随所に示し、**教科横断的な指導**ができるように配慮しました。



3 そのほかの取り組み

⑨教育のICT化への取り組み

- 動画やシミュレーションなど、児童の理解度を高めることをねらいとした**無料***のデジタルコンテンツを豊富に用意しました。コンテンツが用意されている箇所には「**Dマーク**」を配しています。タブレット端末やパソコンなど、端末を問わずに簡単に使用することができます。
※デジタルコンテンツを使用する際の通信費は自己負担となります。
- 使用する際の留意事項(使用の際には、まず教師や保護者に相談すること)を明示し、情報モラルにも配慮しました。



編修趣意書

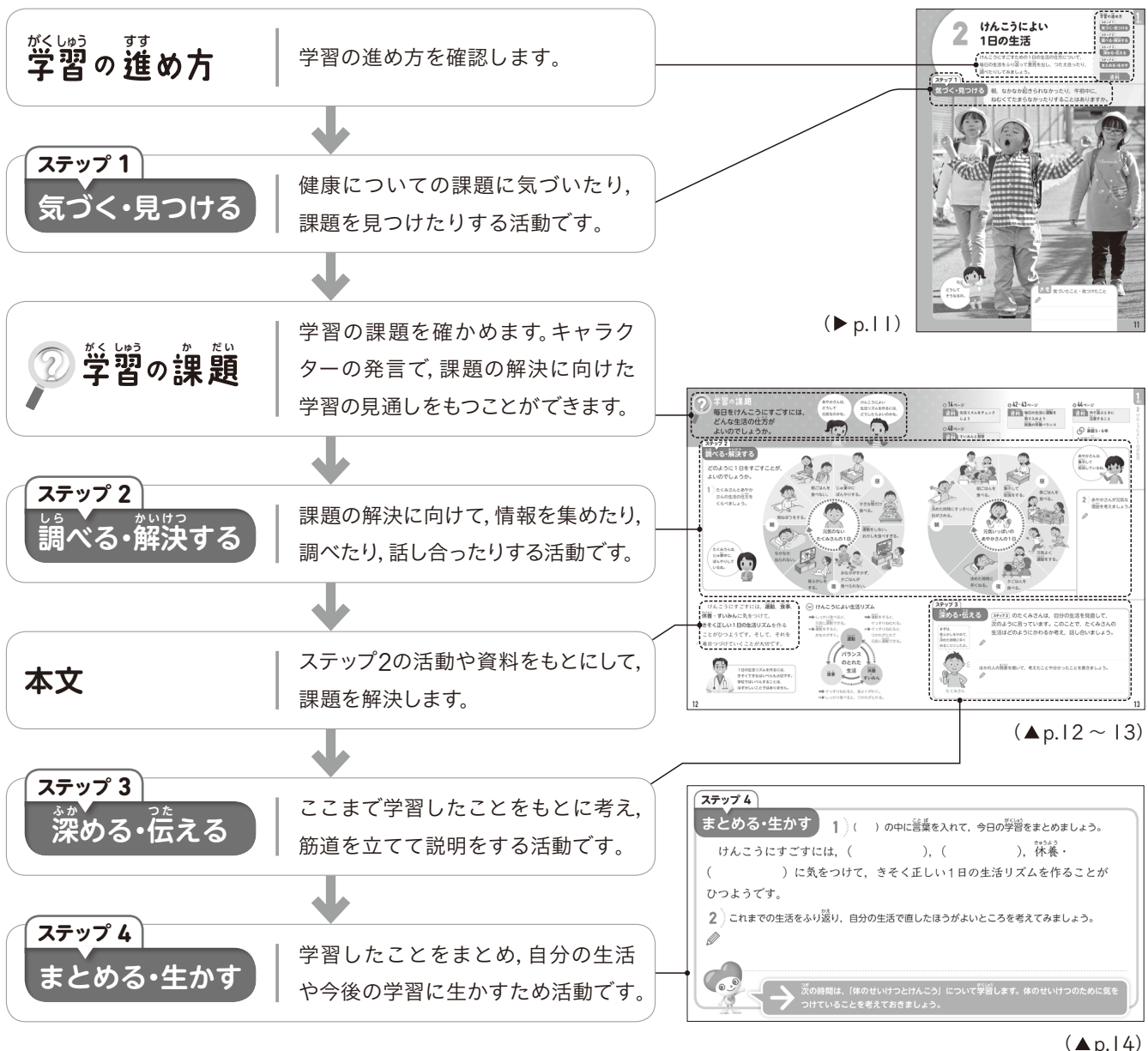
(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-68	小学校	体育科	保健	3・4
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	保健 301	新しいほけん 3・4		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 / 主体的・対話的で深い学びを実現させる教科書

新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を保健の授業で実現するために、授業の流れをわかりやすく、紙面化しました。



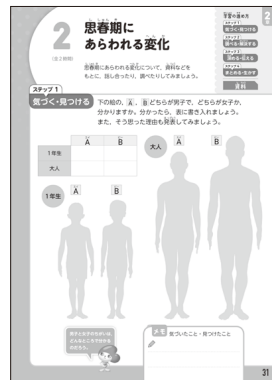
A4判のメリットを生かし、新学習指導要領でいっそう重視されている「思考力、判断力、表現力等」を育む学習活動を充実させました。

ステップ1～**ステップ4**の学習の流れの中に、新学習指導要領解説で例示された「課題を見つける」「学習したことを自己の生活と比べたり、関連づけたりする」「考えた方法を書いたり、発表したりして伝え合う。」などの活動を組み入れました。

課題を見つける



(▲p.25)



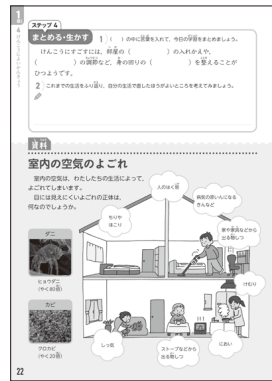
(▲p.31)

A4判のメリットを生かして、インパクトのある写真や、大きくわかりやすい図版などから、健康課題を見つける活動に各項1ページを配し、児童の気づきを大切にしました。

学習したことを自己の生活と比べたり、関連づけたりする



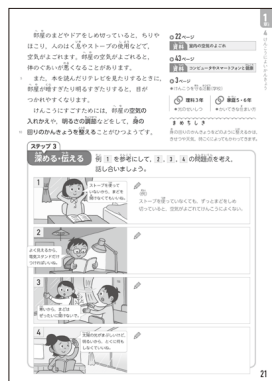
(▲p.17)



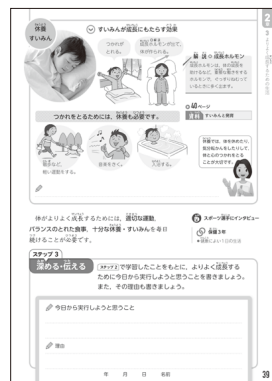
(▲p.22)

実験の結果を自己の生活に関連づけて考えたり(p.17ステップ2-2)、学習したことをもとに自分の生活で直したいところを考えたりする(p.22ステップ4)ことができるようにしました。

考えた方法を書いたり、発表したりして伝え合う



(▲p.21)



(▲p.39)

ケーススタディを用いて、問題点を考えて話し合ったり(p.21ステップ3)、学習したことをもとに、生活改善に向けて実行したいことを、理由とともに書いたりする(p.39ステップ3)ことができるようにしました。

2 A4判を生かして記入スペースを多く設け、ステップ1～ステップ4のそれぞれで思考・判断・表現したことを書き残し、学びをふり返ることができるようになりました。教科書の用紙は、書き込みしやすい紙を開発し、使用しています。

1 今日的な健康課題を扱う「資料」を各項に掲載しました。

- 児童が興味をもつ健康課題を扱いました。

タイトル	ページ
体の部分の名前	10
生活リズムをチェックしよう	14
手のあらい方	18
室内の空気のごと	22
骨や歯の発育	30
月経の仕組み	36
新しい命	36
すいみんと発育	40
毎日の生活に運動を取り入れよう	42
給食の栄養バランス	43
コンピュータやスマートフォンと健康	43
外で遊ぶときに注意すること	44



(▲p.18 手のあらい方)



(▲p.43 コンピュータやスマートフォンと健康)

2 「Dマーク」コンテンツ (デジタルコンテンツ) を充実させました。

- 児童の学びを手助けする動画やシミュレーションなどのコンテンツを活用した学習ができるようにしました。

Dマーク コンテンツ

タイトル	ページ
【動画】手のよごれを調べよう(実験)	16
【動画】下着やくつ下のよごれを調べよう(実験)	17
【動画】手のあらい方	18
【動画】空気の入れかえについて調べよう(実験)	20
【シミュレーション】わたしの身長のもの	26
【シミュレーション】男女の体つきの変化	32
【動画】月経の仕組み	36
【動画】赤ちゃんのたん生	36
【動画】スポーツ選手にインタビュー	39
【動画】体づくり運動	43



(▲p.16)



(▲p.20)

3 他教科の内容や他学年の保健の内容とのリンクを充実させました。

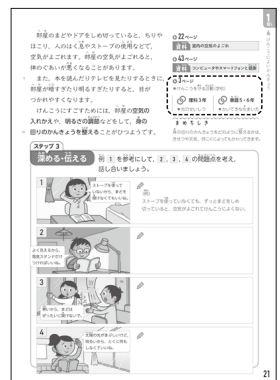
- 教科横断的な指導に配慮し、章とびらや、本文ページで他教科との関連を示しました。また、保健の学習の系統性に配慮し、他学年の保健の内容との関連も示すようにしました。
- 保健のみならず、各教科での学びを結びつける力が身につく、児童の学び続ける意欲が高まります。



(▲p.4)




(▲p.17)



(▲p.21)

観点別特色の一覧

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●健康や安全についての、幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養うことができるようにするために、個人の価値の尊重や自主自律の精神、協力を重んずる態度を育みながら学習することができるように紙面を編集しました。(全体)
<p>学習指導要領の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校学習指導要領(総則)の基本方針である授業改善の推進を受けて、資質・能力の育成のための優れた研究や実践の成果をもとに紙面を編集しました。(全体) ●小学校学習指導要領(体育科)に示された目標に則り、保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することができるようにしました。(全体)
<p>内容・系統</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保健の内容について系統性のある指導ができるように、マークを随所に設け、小学校の保健の他学年の内容と関連を図りました。(p.17, 30, 35, 39など) ●運動に関する内容を随所に積極的に取り上げ、運動領域との関連を図りました。(p.12, 38, 42など)
<p>組織・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領の配列に合わせ、各学年の内容を配列しました。 ●各学年とも、学習指導要領に示された内容の所定配当時数内での指導が可能なように構成しました。 ●基本的に1項目を1単位時間4ページで構成し、見通しをもって学習できるように配慮しました。例外的に2単位時間扱いとなる項については、項タイトルの近くに「(全2時間)」と明示し、1単位時間の区切りとなる箇所も明示しました。(p.31, 33)
<p>知識・技能の習得への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎的・基本的な知識は本文で簡潔にまとめました。本文のなかで特に大切な部分はゴチック体としました。 ●各項の「ステップ4」では、学習した内容をまとめる活動を取り入れました。 ●章末の「学習をふり返ろう」では、理解の程度を自己チェックしながら、学習内容を整理し、知識の定着を図るようにしました。
<p>思考力・判断力・表現力の育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各項に「ステップ1」～「ステップ4」の学習活動を設定し、それぞれのステップに応じて、思考力・判断力・表現力を育成することができるようにしました。 ●判型をA4判とし、児童が思考・判断・表現したことを書くための記入スペースを豊富に設けました。(全体) ●「ステップ1」では、児童の生活場面を想起させる写真やイラストをダイナミックに配置し、児童が身近な例から健康課題を見つけることができるようにしました。 ●他教科や、保健の他学年での学習との関連を随所に示すことにより、既存の学びを新たな学びに結びつけて思考する力が身につくようにしました。
<p>学びに向かう力、人間性等への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各項の2ページ目の冒頭で「学習の課題」を明示しました。「ステップ1」の活動を行った後で、「学習の課題」を確認することで、「学習の課題」をより自分のこととして捉えられるようにしました。 ●「ステップ4」では、学習をふまえて自分の生活を見直す活動などを設け、学習したことを実生活で生かせるようにしました。また、ガイドキャラによる次の時間の学習に向けた投げかけの言葉を付し、次の保健の学習に意欲的に取り組むことができるようにしました。 ●章末の「学習をふり返ろう」では、その章の学習を終えて、もっと知りたい、調べたいと思ったことを書く欄を設け、さらなる学びへの意欲を喚起するようにしました。
<p>主体的・対話的で深い学びへの取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●主体的・対話的で深い学びとなるよう各項を「ステップ1」～「ステップ4」で構成し、それぞれの「ステップ」の活動を工夫しました。 ●主発問と児童の思考を促す補助発問を効果的に配置し、スモールステップで指導できるようにしました。 ●児童の気づきを大切に「ステップ1」を行い、問題意識を高めた後で、「学習の課題」を提示することで、より主体的に学習に取り組むことができるようにしました。 ●それまで学習したことをもとに行う「ステップ3」は、「考える」「説明する」「話し合う」「他の人の意見を聞いて、考えたことや分かったことを書く」など、主体的・対話的で深い学びの中心となる活動として位置づけました。

他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●「章とびら」では「🌀つなげよう」として、その章の学習内容と他教科との関連を示しました。 ●本文側注欄などでも、随所に他教科との関連を示しました。
今日的な健康課題への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●「資料」を各項に設け、今日的な健康課題に対応した情報を豊富に掲載しました。 ●「資料」は児童の発達段階に即して、わかりやすい説明としました。 ●「資料」の一覧を目次ページに掲載し、児童自ら主体的に健康情報を取捨選択することができるようにしました。
教育のICT化に伴う取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●学習効果・効率の向上や、実感を伴った理解などを目的として、パソコンやタブレットなどで使用可能なデジタルコンテンツを用意しました。(p.1) ●制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。ビューアによる色反転や、総ルビなどの機能があり、特別支援教育にも効果的に活用できます。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●学年別配当漢字に配慮しながら、熟語では、できるだけ交ぜ書きをなくす配慮から、学習当該学年の1学年上の漢字もふりがなつきで使用するようにしました。また、ふりがなは、初出だけでなく必要な漢字全てにつけました。(全体) ●さし絵は、学習事項を的確に表現するとともに、児童にとって親しみやすいものとししました。(全体) ●さし絵や写真では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮し、固定的なイメージで性の区別をしないようにしました。(全体)
ユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育に配慮し、紙面の色数を限定し、だれも見やすく、落ち着いたレイアウトとしました。(全体) ●カラーユニバーサルデザインの視点から、全ページの配色や色に関わる表現を点検しました。(全体) ●ステップ1～ステップ4の活動は罫線で囲み、本文と明確に区別しました。(全体) ●余白を生かし、本文と資料、また資料どうしが混同しないように配慮しました。(全体) ●本文などの書体、大きさは、児童の発達段階に配慮して選定しました。全ての文字は、読みやすさに優れたユニバーサルデザイン(UD)フォントを用いました。また、本文では新開発の「UD教科書体」を採用しました。(全体) ●堅牢かつ軽量の紙を使用し、重量による身体的な負担の軽減に努めました。(全体) ●拡大教科書を、文字のポイント別に複数種類発行いたします。

2. 対照表

配当時数計：8

学年	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
3年	1章 けんこうな生活	(1) ア(ア), (イ), (ウ), イ	4～23	全4時間
	1 けんこうというたからもの	(1) ア(ア), イ	5～10	1
	2 けんこうによい1日の生活	(1) ア(イ), イ	11～14	1
	3 体のせいけつとけんこう	(1) ア(イ), イ	15～18	1
4年	4 けんこうによいかんきょう	(1) ア(ウ), イ	19～22	1
	2章 体の成長とわたし	(2) ア(ア), (イ), (ウ), イ	24～41	全4時間
	1 育ちゆくわたしたちの体	(2) ア(ア), イ	25～30	1
	2 思春期にあらわれる変化	(2) ア(イ), イ	31～36	2
	3 よりよく成長するための生活	(2) ア(ウ), イ	37～40	1

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-68	小学校	体育科	保健	3・4
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	保健 301	新しいほけん 3・4		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
10	体の部分の名前	2	G 保健 (1)健康な生活 ア知識(ア)	0.75
30	骨や歯の発育	2	G 保健 (2)体の発育・発達 ア知識(ア)	0.75
36	新しい命	2	G 保健 (2)体の発育・発達 ア知識(イ)	0.5
40	すいみんと発育	2	G 保健 (2)体の発育・発達 ア知識(ウ)	0.75
43	コンピュータやスマートフォンと健康	2	G 保健 (1)健康な生活 ア知識(イ) (ウ) G 保健 (2)体の発育・発達 ア知識(ウ)	0.25
44	外で遊ぶときに注意すること	1	G 保健 (1)健康な生活 ア知識(イ) G 保健 (2)体の発育・発達 ア知識(ウ)	1
合計				4

(「類型」欄の分類について)

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容